

● 応募要項 ●

◆応募方法

当 NPO のホームページ及びフェイスブックにある専用フォーム（投稿内容のシチュエーション、投稿者のプロフィール、タイトルと本文 250 字以内）に記入してご応募いただくか、ホームページにある Word ファイル (A4 判) を E-mail に添付し、**oubo@career-ken.org** 宛に送信してください。

ガーネット賞（「障がいのある人としごと」分野）への応募は応募フォームの該当箇所にチェックを入れてください。Word の場合は同賞への応募であることを明記してください。

＊フェイスブック（<https://www.facebook.com/npocareerken>）

＊ホームページ（<https://www.career-ken.org/tsubuyaki2025>）

＊郵送では受け付けておりません。

◆応募資格と主な注意事項

応募作品は、当 HP に掲載する場合があります。

応募にあたっては、以下を必ず守ってください。

①応募者本人の体験であること、もしくは、応募者本人が直接見聞きした事実に基づくものであること。

②応募作品は未発表のオリジナル作品で、公序良俗に反しないものに限りです。

※前回応募いただいた方でも、新しい作品であれば応募できます。

③個人、企業、団体などを中傷したり、プライバシーを侵害したりする作品は不可とします。

④以下の表現に関するものは避けてください。

- ・政治活動・宗教活動に該当する内容、特定の人物（芸能人・政治家等）に関する表現
- ・企業名、商品名など広告宣伝や個人の売名行為、自己宣伝につながるおそれがある表現

⑤応募作品について、第三者との間に紛争等が生じた場合、応募者本人が自らの責任において当該紛争等を解決してください。

受賞作品発表後でも、虚偽の事実や本規約違反等があった場合は受賞が取消される場合があります。

⑥応募作品に個人名が入っている場合でもそのまま HP にアップします。個人名を出すことに差し障りがある場合は、仮名等に修正をお願いします。

⑦ペンネーム・ニックネームでも構いませんが、連絡のとれるメールアドレスをご記入ください。

⑧応募本数に制限はありませんが、HP にアップする件数を制限することもあります。

◆その他注意事項

・生成 AI（チャット GTP や Gemini、Copilot ほか）を使用した作品の応募はご遠慮ください。発覚した場合は失格となります。・作品は返却いたしません。

・応募作品の著作権は作者に帰属します。

・当 NPO が使用する際に応募作品を再編集させていただく場合があります。

・応募作品は、下記の NPO の行う業務に使用します。

【応募作品の使用範囲】

- (1) NPO のホームページやアーカイブでの公開（作品及び応募者の属性）
 - (2) NPO が主催、後援するイベントでの公開
 - (3) 広報宣伝活動での使用（ポスター・パンフレットなど印刷物への転載を含む）
 - (4) その他、理解促進活動、調査研究など NPO の業務上での使用
- ・作品の制作、応募に関する費用一切は応募者の負担とします。



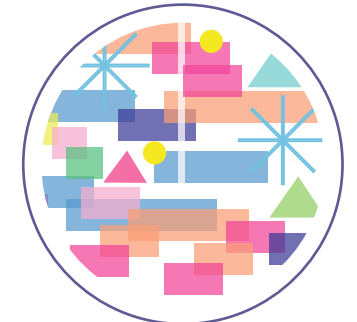
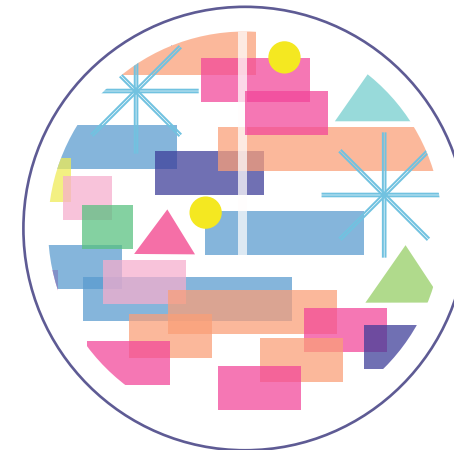
【応募ページ】

主 催 認定 NPO 法人 キャリア権推進ネットワーク 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3 丁目 2 番 14 号 新横町ビル別館第一
URL : <https://www.career-ken.org/tsubuyaki2025> E-mail : oubo@career-ken.org

協 賛 株式会社イフ URL : <https://www.ifnet.co.jp>



2025年度 仕事とキャリアのアーカイブ構築事業 第11回「仕事のルビー 働くサファイア」 ～働く私を動かした言葉や出来事～



The 11th
Ruby and Sapphire



あなたの職業人生の中で
キラリと光る言葉や出来事を
投稿してください！

応募要項は裏表紙をご覧ください

生成 AI（チャット GTP や Gemini、Copilot ほか）を使用した作品の応募はご遠慮ください。発覚した場合は失格となります。

ガーネット賞*「障がいのある人としごと ～懸命に働く とともに働く～」を 2017 年度に新設しました！

* ガーネット賞は障がい者雇用支援サービスを行う株式会社イフによる協賛事業です。
ガーネット（柘榴石 / ざくろいし）の石言葉は「生命力・友愛」です。

第10回「仕事のルビー 働くサファイア」 ～働く私を動かした言葉や出来事～ 入選作品



キラリしごと大賞

ペンネーム ホルモンくん 様 中四国在住 40 歳代

「ヒジャブと私」

職場の病院職員食堂にヒジャブを身に付けた女性達がやってきた。インドネシアから研修生だそうだ。彼女達が券売機の前で困る様子を見かけた。メニューは漢字表記、上司に相談すると「あの人達はいよいよとなればマック行くから」とつれない返事。目の前にいる人を喜ばせなくてどうすると私のやる気に火がついた。英語のメニューを勝手に作り、豚肉及びラード使用の物には豚の絵を描いた。上司に差し出すと「本場のナシゴレン教えてもらって提供したいね」券売機に引っ掛けてくれた。頑張る彼女達の笑顔が見たい。勇気をありがとう！

<ご本人コメント>

素敵な賞をいただき光栄です。病院の職員食堂という場所柄、昼の職場はまるで戦場、食べに来られるお客様は病院職員の方。あまりの忙しさに緊張を強いられる環境から休憩されるお客様に喜ばれる食事を提供できているだろうかと思い悩むこともしょっちゅう、無愛想なお客様に対面した日は自分に笑顔が無かったからではとハッとさせられることもあります。元気はもらうものではなく自家発電させるもの、一日を笑顔で働くのを自分自身と約束し頑張ります。ありがとうございました。



ルビー賞

ペンネーム 吉塚 有佑 様 関東在住 20歳代

「頑張りすぎているあなたへ」

「置かれた場所に咲いてくれ。咲き続けると疲れるからたまには枯れてもいいぞ」これは、私が精神的に病みかけ、前職を辞める際にある上司から送られた言葉です。「たまには枯れてもいい」この言葉が当時無職になった私にとって励ましの言葉になりました。今は枯れていても、次の花を咲かせる準備期間にすれば、この辞職は失敗ではなく、次への必要な時間と考えを改めたのです。無職になった自分を蔑んでいましたが、この言葉のお陰で、前に進むことができました。だから次は私が、日ごろ頑張るあなたにこの言葉を送ります。

<ご本人コメント>

この度は素敵な賞をいただき、大変嬉しく思います。上司の「頑張り」という言葉が憎くなりつつあった当時、頑張り続けすぎってしまった私の結末は心身の負傷で退職でした。「頑張っていたのに、何で」その思いで悔しく情けなくなっていた時にもらったこの言葉で私は「頑張る」から解放されました。生き方は様々で自分のペースで花を咲かせ、枯れてもまた咲けばいい、今はその気持ちで働いています。最後に苦しかったあの一年を支えてくれた周りの方々、そしてもう会うことはできないこの言葉をくれた前職の上司に感謝申し上げます。



サファイア賞

ペンネーム アオイソラ 様 中四国在住 60歳代

「曲がった枝を生かす」

40代で転勤。上司の「組織は庭。曲がった枝は切らずに生かす。それぞれの個性が生きて、唯一無二の庭になる」という言葉が私を変えた。曲がった枝は扱いづらいという思い込みがあった私はドキリ。ぐるりと職場を見回すと、強面の方からお局風の方まで…。中堅リーダーとして頑張らないといけなのによっていいのだろうか。しかし、上司に「自分のやりたいことにチャレンジ」と言われ、心がほぐれた。確かに個性は豊かだったけど、ベクトルが揃うとすごいパワーがあり、楽しく仕事できた。個を生かすことを学んだ組織だった。

<ご本人コメント>

このたびは栄えある賞に選んでいただき、心より感謝申し上げます。転勤先で上司からかけられた「曲がった枝を生かす」という言葉は、組織での私の在り方を大きく変えました。個性を尊重し合うことで生まれる力と楽しさを実感したあの経験は、定年を迎えた今も私の心に残っています。今は組織を離れましたが、「個を生かす」は人生のテーマ。その思いを、この作品に込めました。



ガーネット賞

ペンネーム 祖鞍あいこ 様 関東在住 50 歳代

「精神障害者が居場所を見つけたエピソード」

パティスリーでパティシエ補助として働く私は毎日楽しい。ケーキのプレートにメッセージを書くシェフ達を見て、毎日誰かの誕生日なのだと思う。そしてそれに携われていることが嬉しい。ケーキが並ぶショーケースを覗く人達の目は幸せそうで、それをケース側から眺められる私はそれだけで有り難いと思う。障害者枠でこの仕事の求人を見つけた時は、とても嬉しかった。一般枠雇用で苦労を重ねた努力がやっと報われた。実家に帰る時、社割で店のケーキを買って行く。母は目と舌で味わってとても喜んでくれる。やっとできた親孝行。

<ご本人コメント>

この度は、このような素敵な賞に選んで頂きありがとうございます。27歳の時から、統合失調症を患う私がやっと見つけた居場所である職場について書きました。目には見えない病なだけに、病気を隠して採用されてもそれが続かず、やり場のない悲しみや怒りが入り混じる日々がありました。「精神障害者」というと、悪いニュースの加害者や、マイナスのイメージが先行するかと思いますが、その繊細さ故を生かして、努力の下に、地道に活躍している人が、世の中にいることを知って頂く機会になれば幸いです。

あなたの職業人生の中でキラリと光る言葉や出来事を投稿してください

● テーマ例

「仕事で励まされたひと言」、「仕事で転機になったこと」
「仕事の上の大失敗とリカバリー」
「プロの技を教えてくれたあの人の言葉」
「日頃言にくい親や上司や後輩に向けての感謝の言葉」
「私が働き甲斐を感じた瞬間」
「仕事に頑張る私のバックボーン」等

● 選考委員

委員長：理事長 諏訪康雄
副委員長：理事 菊池桃子（女優・戸板女子短期大学客員教授）
委員：当 NPO 担当部長、株式会社イフ代表取締役社長 川崎芳清（ガーネット賞選考委員）

● 表彰

入選作品には Amazon ギフトカード（e- ギフトカード）を贈呈します。
「キラリしごと大賞」（1 名） Amazon ギフトカード 3 万円
「ルビー賞」（1 名） Amazon ギフトカード 1 万円
「サファイア賞」（1 名） Amazon ギフトカード 1 万円
「ガーネット賞」（1 名） Amazon ギフトカード 1 万円 + （株）イフ賞として QUO カード Pay 1 万円

● 締切

2026 年 2 月 27 日（金） 送信完了

● 発表

2026 年 6 月予定 本人にお知らせし、当 NPO のホームページで 6 月に発表いたします。